

「楽校ネットワーク」グループ

6月20日 夢会議「より神戸らしいKOBEBづくり」
その他、委員が個々の活動として一芸の出前を多数行った。

【活動の概要】

「楽校ネットワーク」は、趣味や一芸を子供たちと一緒に楽しむ活動をしている個人や団体を結んだネットワークです。顔の見える関係で「この指とまれ」とネットワークに参加する人々を呼びかけています。今年度は委員が個々の活動として様々なイベントに参加しました。

16年度の主な活動

- ・新しい形の出前に挑戦してみようと、「青少年ボランティア入門講座」を行ったので、これを具体例として紹介する。迷路の出前を青少年ボランティアに行ってもらうための入門講座である。「イベントボランティア募集」と銘打って5回の講座を開催した。1日目は青少年のボランティアの講義、迷路の設計。2日目はチラシづくり。3日目はポスター・チラシづくり。4日目はポスター・チラシ・看板づくり。5日目は迷路の公開。
- ・8名の中高生が応募、参加し、迷路を組み立て、一般公開するまでこぎつけた。青少年の参加者自身にやってもらうようにしたため、指示待ちではなく、自ら進んでやってくれるようになった。迷路に入場した、たくさんの子供たちに「ありがとう」と言われ、受講生がよるこんでいた。楽しみながらボランティアが出来たと思う。
- ・迷路の出前について
迷路の出前は、組立て等にかかなりの作業がともなうので大変だが、オリジナルなイベントが出来る。単にイベントや一芸の出前をするだけでなく、活動を通して青少年の健全育成と、実行する側の生涯学（楽）習が出来ることが理想である。
- ・お手玉の出前について
神戸お手玉の会を通して幼稚園・小学校他へのお手玉遊びの指導や色々なイベントに参加した。具体的には、全国お手玉遊び第13回神戸大会、神戸まつりパレードへの参加、新居浜（日本お手玉の会本部）大会に参加したほか、婦人学級、幼稚園、小学校、ふれあい喫茶、カルチャーセンター、大学、手話サークル、養護老人ホーム、親子サークル等への出前、指導を行った。

